



国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)
国際部 先端国際共同研究推進室 ASPIRE グループ

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町ビル8階
<https://www.jst.go.jp/aspire/>
電話：03-6261-1994
E-mail：aspire@jst.go.jp

2026年7月3日発行

最新の情報は ASPIRE のウェブサイトをご覧ください



<https://www.jst.go.jp/aspire/>



X https://x.com/JST_ASPIRE



YouTube <https://www.youtube.com/@JSTASPIRE>



note https://note.com/jst_aspire



LinkedIn <https://www.linkedin.com/company/jst-aspire/about/>



ASPIRE
先端国際共同研究推進事業



国立研究開発法人
科学技術振興機構

ASPIREとは

先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）^{アスパイア}は、我が国の科学技術力の維持・向上を図るため、政策上重要な科学技術分野において、国際共同研究を通じて我が国と科学技術先進同志国・地域のトップ研究者同士を結び付け、我が国の研究コミュニティにおいて国際頭脳循環を加速することを目指します。

本事業により、我が国と科学技術先進同志国・地域との間で、最先端の研究開発につながるネットワークを構築しつつ、次世代のトップ研究者を育成し、その流れを能動的に作り出すための仕組みを構築します。

JSTは「AI・情報・知能ロボティクス」「バイオ」「エネルギー」「マテリアル」「量子」「半導体」「ネットワーク・通信」の7分野に対し、支援をしています。

世界のトップ科学者層
との
ネットワーク構築

未来を決める
国際的な
トップ研究コミュニティ
への参画

将来持続的に
世界で活躍できる
人材の育成

世界トップレベルの研究者が国を超えて繋がり
新たな知見や技術を生み出す「国際頭脳循環」を加速

実施形態・研究分野

本事業は、対象とする国・地域、分野・研究領域の指定を文部科学省から受け、実施しています。また、研究課題の公募、選考、支援等といった事業の運営のため、事業全般への助言、および課題の選定、推進及び評価等に係る業務を統括する運営統括（PD）、ASPIREの対象分野ごとに課題の選定、推進及び評価等で中心的な役割を担う研究主幹（PO）、研究主幹を補佐し専門的事項についての助言等を行うアドバイザー（AD）といった専門家にご協力いただいています。

支援内容

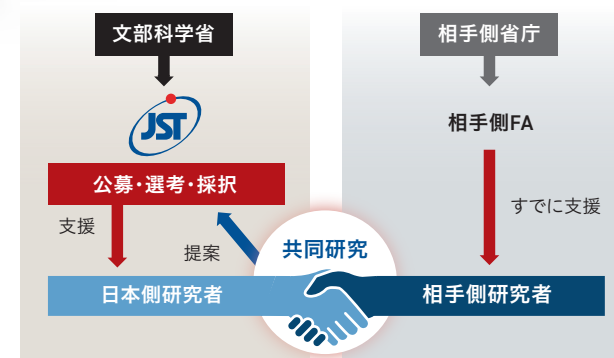
	単 独 公 募		共 同 公 募
応募対象とする 研 究 代 表 者	TopのためのASPIRE	次世代のためのASPIRE	国際的にトップ水準の研究を行い、相手側研究者と共同提案ができる研究者
	トップ研究者として国内・外で卓越した研究実績があり、国際共同研究をリードできる研究者	すでに独立した研究環境を得ており、将来のトップ研究者として活躍が期待される研究者	
分 野	AI・情報・知能ロボティクス、バイオ、エネルギー、マテリアル、量子、半導体、ネットワーク・通信 ※健康・医療分野は日本医療研究開発機構（AMED）が所管		
対 象 国 地 域	オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チェコ、デンマーク、EU、フィンランド、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、韓国、スペイン、スウェーデン、スイス、英国、米国		
支 援 規 模	最大3.8億円 ※直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大5億円	最大6,900万円 ※直接経費の30%にあたる間接経費を含む場合、最大9,000万円	相手側資金配分機関との協議による ※間接経費を含む場合、最大5億円
支 援 期 間	5年間	3年間	3～5年間

※インドを対象とした招へい型公募はJSTさくらサイエンスプログラム推進本部が所管

● 単独公募と共同公募

単独公募

JSTが単独で、日本側研究者による相手側研究者との国際共同研究課題を公募する形態です。応募された課題提案を選考し、採択した課題において、JSTが日本側研究者を支援します。



共同公募

相手側FA等と共同で国際共同研究課題を公募する形態です。公募テーマは、本事業の対象となる分野・研究領域から相手側FA等と調整して設定します。

